



鳥箱つくりは早目に……★

ムクドリやシジュウガラのように、木の洞に巣を作る鳥は、鳥箱によく入ります。これらの鳥は多くの害虫をとって食べますので、森林や農地に架ければ害虫を排除し、また、鳥箱を作ったり観察したりすることで野鳥愛護の気持ちも深くなってきます。

鳥箱は早めに作り、五月中には架け終るくらいにします。鳥箱の架間は少くとも一〇以上は離し、枝の少い幹に木がいたまぬように、針金などでしっかりと結びつけます。釘で樹木に打つことは

絶対さけるべきです。

鳥箱の高さは、ムクドリ用四〜五段、シジュウガラは三〜四位ですが、場所によって多少変わっても差支えありません。鳥箱の方向は夕陽の射す方又は強風のいつも吹き方向を避けて、開放地の明るい方に向けるべきですが、これも原則として、あまり難しく考えることはないようです。

鳥箱をかけたなら巣立つまで手を触れないようにしましょう。せっかく架けてやったのが、かえって鳥にとって迷惑なことになる場合がありますから、観察はあくまで知識のある方に指導してもらった方が大切です。

近年方々で鳥箱をかけていますが、架けっぱなしで一年きりて駄目になってしまふことが多いようです。鳥が巣立ったらよく掃除して又使用出来るようにしましょう。そして自分で作った鳥箱に鳥を

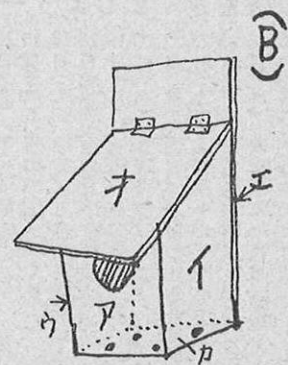
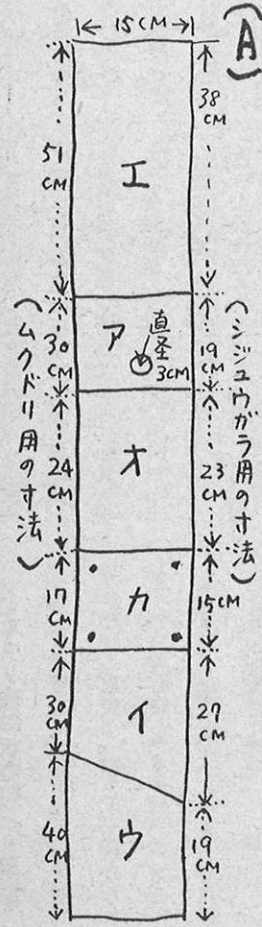
よんで、かわいいヒナをたくさん育てたいのもです。

鳥箱の材料と方法……★

鳥箱を作る材料には、板、竹、丸太、コンクリートなどがありますが、最も普通に使用されるのは、板で作った鳥箱です。これには箱形と屋根形との二種類があります。

板は一枚のものを使用しなくとも、果物やビールの空箱を利用してよいし、製材くずでもよいわけですが、材質はスギ、マツ、ヒノキ、など何でもよく、自然のままの素材がよく、厚さは一センチ位が適当です。

標準型鳥箱の作り方を説明しますと、箱形の場合は(A)の図のとおりです。一枚の板に寸法をひいてア、イ、ウ、エ、オカの六枚の板をとる。ア、は前板でこれにはマワシビキで小鳥の出入穴を



あける。シジュウガラ大の鳥では三センチ、ムクドリ大の鳥では五センチ位にする。イとウは横板で雨がたまりぬように四個のキリ穴をあける。オは屋根板となり、エとオの取着は蝶つがいでとりつけておくと鳥箱の中を調べるのに都合がよくなります。(治山課)

- (期日) (行事名) (場所)
- 五、七 産 業 祭 阿蘇郡南小国村 赤馬場市原
 - 八、九 黒川温泉祭 満願寺黒川
 - 十一 鮎魚解禁 八代市宮原町
 - 二十七 杖立温泉祭 阿蘇郡小国町
 - 二十九 螢 合 戦 玉名郡玉東村
- 中・下旬ほたる 狩 阿蘇谷 一帯
五月 観光 こよみ

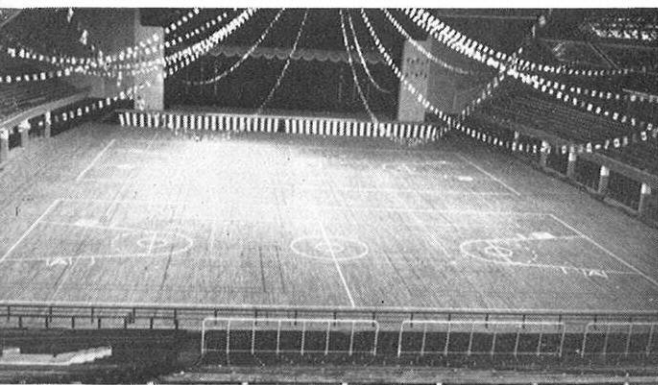
団体にそなえて

熊本の国体開催を明年にひかえて、各競技施設はいよいよ本格的な準備にとりかゝりました。

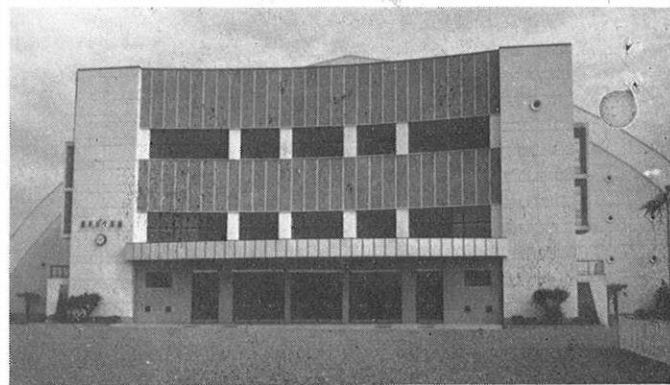
(国体についてのくわしい記事は14頁をごらん下さい)



↑ 競技場などの視察や指導のために来熊した視察団の一行……★



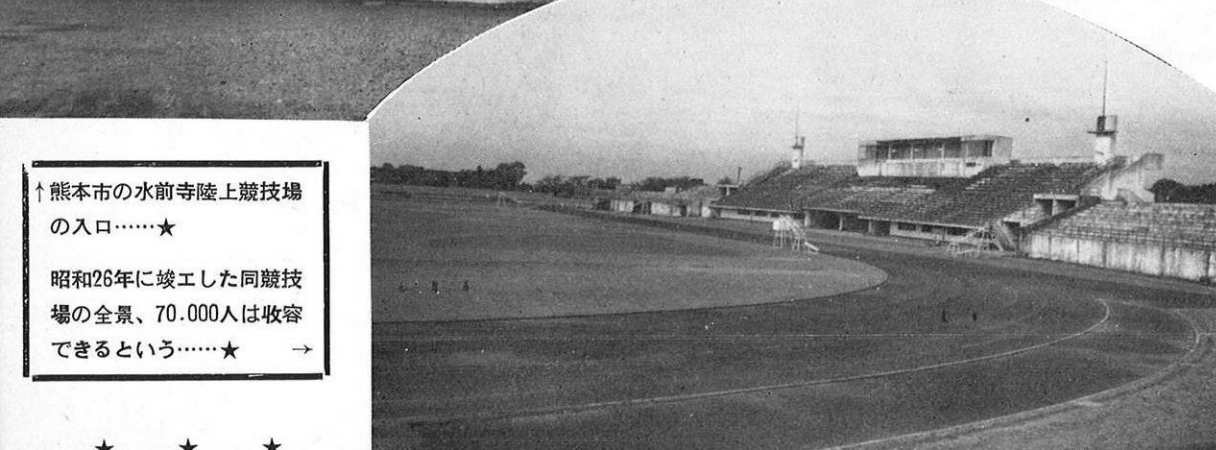
↑ 10,000名を楽に収容できるという熊本市体育館の内部……★



↑ 昨年竣工した熊本市体育館のスマートな正面全景……★



↑ 国体事務局の玄関口……★



↑ 熊本市の水前寺陸上競技場の入口……★
昭和26年に竣工した同競技場の全景、70,000人は収容できるという……★